

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
医療基礎1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・夜間部	3年	1期	木目 良太郎				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	1	10	
科目概要							
衛生学・公衆衛生に関する国内外の歴史から始まり、健康の概念や感染症、予防活動、環境問題等、様々な公衆衛生活動の基本となる課題に取り組む。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	国民の健康維持・増進に取り組む社会的政策(予防医学、感染症対策、環境衛生など)について理解し、時々刻々と変化する社会的な健康問題に対応できる柔道整復師の育成を目指す。						
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生学・公衆衛生学の歴史について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・健康の概念について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・疾病予防と健康管理について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・感染症の予防について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・消毒について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・環境保健について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・生活環境・食品衛生活動について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・母子保健について説明、および複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 					
履修に必要な予備知識や技能							
柔道整復師に限らず、医療専門職を目指す学生にとって、社会医学に興味がないと難解な内容も多々あります。従って、まずは授業で理解するように努めてもらえれば大丈夫です。将来的には殆どの学生が柔道整復師として社会の一員として医療サービスを届けることになるので、「衛生学・公衆衛生学」を通して「国民の健康維持・増進」に関する基礎知識を提供し、将来的には社会の健康ニーズに応えられるような科学的思考を植え付けることが出来ればと思います。							
教科書・参考書							
衛生学・公衆衛生学 第6版 (南江堂)							
受講上の注意							
短時間で結構なので、予習をしてから授業に臨んで下さい。教科書に書かれている青字の箇所に注意しながら一読してもらっても大丈夫です。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	ガイダンス、衛生学・公衆衛生学の歴史			p1-7			
第2回	健康の概念			P9-22			
第3回	疾病予防と健康管理			P23-29			
第4回	感染症の予防			P31-48			
第5回	消毒			p49-59			
第6回	環境衛生(地球温暖化、騒音)			P61-78			
第7回	環境衛生(振動、公害)			P78-95			
第8回	生活環境・食品衛生活動			P97-119			
第9回	母子保健			P121-133			
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
質問があれば、メールで連絡して下さい。kime@tokyo-med.ac.jp)							